発表資料

令和８年11月19日
名古屋税関
四日市税関支署

令和８年１０月分　四日市港　貿易概況（速報）の要旨

令和８年１０月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「石油製品」「自動車」などが増加したことから、対前年同月比21.7%の増加となった。また、輸入額は「コーヒー」などが減少したものの、「原油及び粗油」「石油製品」などが増加したことから、同 25.8%の増加となった。

その結果、差引額は１，１７４億円（同 29.9%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,127億円	＋21.7%	2,302億円	＋25.8%	▲1,174億円	＋29.9%
	10ヵ月連続の増加		6ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	（１）	石油製品	149億円	＋218.7%	輸入	増加品目	（１）	原油及び粗油	1,273億円	＋16.4%
		（２）	自動車	180億円	＋29.7%			（２）	石油製品	191億円	＋142.4%
		（３）						（３）	液化石油ガス	109億円	＋103.8%
	減少品目	（１）	自動車の部分品	68億円	▲43.7%		減少品目	（１）	コーヒー	10億円	▲55.1%
		（２）	建設用・鉱山用機械	8億円	▲66.9%			（２）	電気回路等の機器	1億円	▲88.1%
	地域別動向		アジア、西欧が増加、北米は減少				地域別動向		北米、アジアが増加、中東は減少		

（参考）ドルレートは、１５７．８４円（前年同月比５．６%、８．３３円の円安）であった。
注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。